

# 性感染症の発生状況(5月分)

(県内16観測医の報告分)

疾病名	報告数	発生状況
性器クラミジア感染症	58 (50)	
性器ヘルペスウイルス感染症	19 (27)	新型コロナウイルス感染症発生に伴うBCPにより、当月分の委員による分析は行っておりません。
尖圭コンジローマ	10 (10)	
淋菌感染症	17 (8)	

( )内数値は前月報告数

報告数は県内16箇所の指定届出医療機関からの届出数であり、県内の発生総数ではありませんのでご注意ください。

## 性感染症について

性器クラミジア感染症	潜伏期間は1～3週間。女性では、おりものが増える程度。しかし放置すると不妊症の原因となる。男性では排尿痛や分泌物の増加がみられることもあるが、淋病に比べて症状は軽い。
性器ヘルペスウイルス感染症	潜伏期間は2～10日。性器に痛みを伴う水疱や浅い潰瘍ができる。再発することが多い。
尖圭コンジローマ	潜伏期間は数週間～数か月。性器や肛門などにいぼ状の腫瘍ができる。
淋菌感染症	潜伏期間は3～10日。男性では、激しい排尿痛があり膿が出る。女性では、男性に比べて症状があまりないことが多い。

STD(性感染症)に感染していると、性器に炎症や損傷がおこりHIV(エイズウイルス)感染が起りやすくなると考えられます。県内各保健所で匿名、無料にて検査を受けることができます。詳しくは最寄りの保健所にお問い合わせください。

熊本県のホームページ「エイズってなあに」を是非ご覧ください。

(「熊本県のホームページ」「健康・福祉」「感染症・疾病対策」「エイズ」「エイズってなあに」)

健康危機管理課

# 性感染症の発生状況(5月)

(県内16観測医の報告分)

## 保健所別発生状況

区 分		合計	熊本	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草
性器クラミジア 感染症	男	37	35									2	
	女	21	13		4		1	2			1		
	計	58	48		4		1	2			1	2	
性器ヘルペス ウイルス感染症	男	6	5									1	
	女	13	5		1		2	3			1	1	
	計	19	10		1		2	3			1	2	
尖圭コンジ ローマ	男	7	7										
	女	3	2		1								
	計	10	9		1								
淋菌感染症	男	11	10									1	
	女	6	3		1			2					
	計	17	13		1			2				1	
計	男	61	57									4	
	女	43	23		7		3	7			2	1	
	計	104	80		7		3	7			2	5	

\*は、定点がない地区

## 年齢別発生状況

区 分		合計	0~ 14	15~ 19	20~ 24	25~ 29	30~ 34	35~ 39	40~ 44	45~ 49	50~ 54	55~ 59	60歳 ~
性器クラミジア 感染症	男	37		3	10	10	7	3		1		2	1
	女	21		3	8	6	3		1				
	計	58		6	18	16	10	3	1	1		2	1
性器ヘルペス ウイルス感染症	男	6				1	1		1		1		2
	女	13		1	1	2	1		3		1		4
	計	19		1	1	3	2		4		2		6
尖圭コンジ ローマ	男	7			1	1	1		2	1			1
	女	3		1	1		1						
	計	10		1	2	1	2		2	1			1
淋菌感染症	男	11		2	4	2	1	1	1				
	女	6			3		2	1					
	計	17		2	7	2	3	2	1				
計	男	61		5	15	14	10	4	4	2	1	2	4
	女	43		5	13	8	7	1	4		1		4
	計	104		10	28	22	17	5	8	2	2	2	8